

まちづくりニュース 第5号

第5回 後楽二丁目北・北西地区しゃれ街等検討会(文京区)を12月7日(水)に開催しました!

第5回検討会では、昨年度取りまとめたまちづくりの方向性を元に、各ゾーンの課題と整備指針での位置付けを確認し、それぞれのまちづくりの方針や整備イメージについて、たたき台を参考にご意見を頂きました。

昨年度取りまとめた「後楽二丁目北・北西地区のまちづくりの方向性」

【計画建替えゾーン】

<課題>

木造建物が密集し、災害等の危険性が高い
道路幅員が狭く、自己建替えの難しい敷地もある

<整備指針での位置付け>

→一定の規模で地区の不燃化を行う

【個別更新ゾーン】

<課題>

一部を除いて道路に面しており、比較的建替えしやすい
一方で土地利用が散発的に変化している

<整備指針での位置付け>

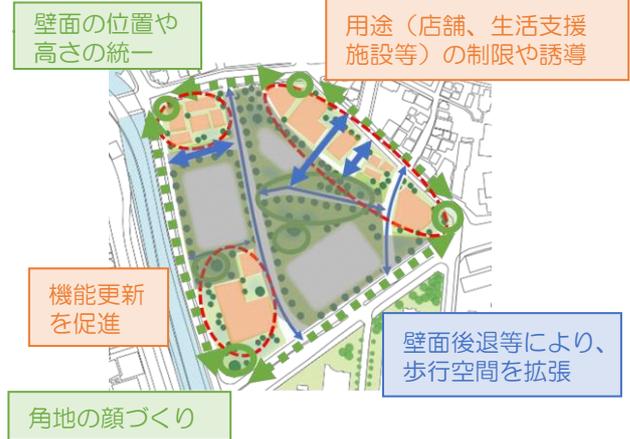
→地区のルールに沿って、段階的に不燃化を行う

第5回検討会で検討した内容

「まちづくり方針(案)」及び「整備イメージ(例)」

- 多世代に対応した生活支援施設や魅力ある店舗などを誘導する
- 地区内交通を安全かつ円滑に処理できる道路ネットワークを形成する
- 平常時には住民の憩いの場となり、災害対応も可能な広場を確保する

- 建替えに合わせて、地区外周部における機能更新を促進する
- 防災性を向上し、歩行者が安心して歩ける空間を創出する
- 個別の建替えや共同建替えにより、地域の顔づくりを誘導する



※エリア(ゾーン)は整備指針の区域を示しており、具体的なエリア分けは協議会(後楽二丁目北・北西地区まちづくり協議会)で議論しています

<第5回検討会における主なご意見>

機能(用途)

<計画建替え>

- 地域に住んでいる人が利用できる店舗や飲食店があるとよい
- 事務所中心よりは住宅中心がよい

<個別更新>

- 小規模な店舗などが1階にできるとよい
- 計画建替えゾーンでの今後の計画も踏まえて考えていきたい



検討会当日の様子

交通

<計画建替え>

- 通り抜けの車による危険がないなど、子供が安心できる道路がよい
- 道路の幅員なども過大とならないようにしたい
- 目白通り歩道の段差を解消したい

<個別更新>

- できるなら、神田川沿いや巻石通りの歩行空間を広くしたい
- それぞれが土地を持っている中で、どこまでできるかが課題となる



意見交換の様子

広場等

<計画建替え>

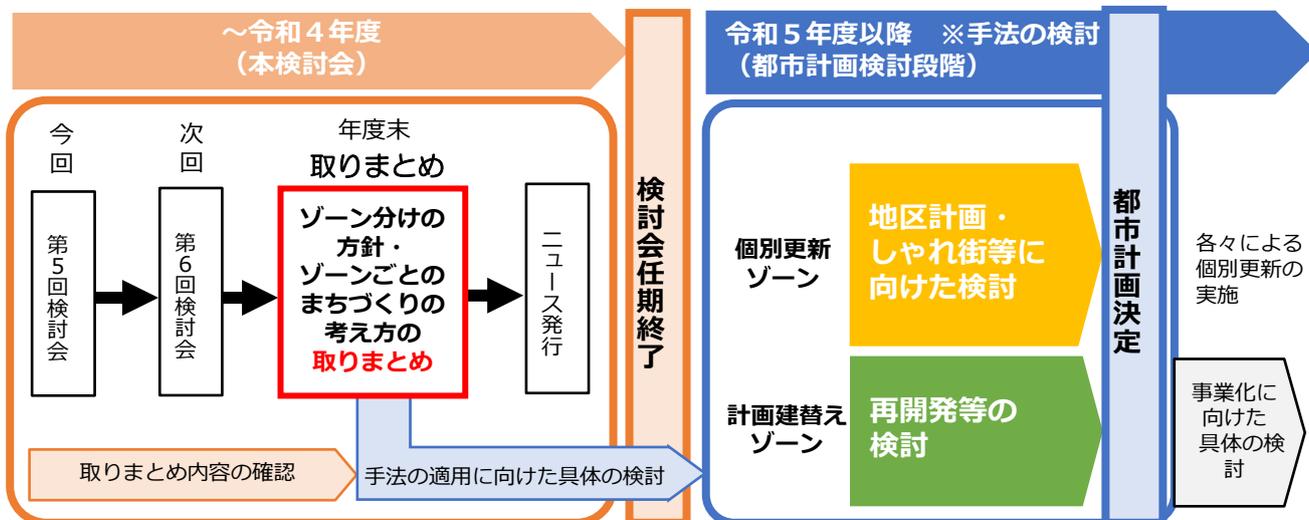
- 神社の境内と一体的に利用できる広場があるとよい
- 子供が遊べる場所・緑などがあるとよい

<個別更新>

- 統一感のある街並みを意識した更新ができるとよい
- 高さは揃えられるとよい
- 計画建替えゾーン側でも個別更新ゾーンを意識した計画にできるとよい

<今後の進め方>

地元協議会での具体のエリア分けの議論を受けて、年度末に「ゾーン分けの方針・ゾーンごとのまちづくりの考え方」を取りまとめる予定です。地区計画等の内容については、次年度以降、検討・決定してまいります。



後楽二丁目地区についての区HPはこちら→

【お問い合わせ】
 〒112-8555 東京都文京区春日一丁目16番21号
 文京区都市計画部地域整備課まちづくり担当 川合、藤田、岡田
 Tel : 03-5803-1848 (直通) 平日午前8時30分から午後5時まで
 Mail : b402400@city.bunkyo.lg.jp